

## 9月6日：株式市場は動きなし 寄り後の上昇を売り圧力が相殺

火曜日の株式市場は寄り後の上昇が引け間際の売り圧力で相殺される形で終わった。

ホーチミン市場のVN指数は1,277.40ポイントと大きな変化は見られなかった。月曜日は1,277.35ポイントで取引を終えていた。14.6兆ドン（6億2,000万ドル）相当の5億8,150万株が取引され、191銘柄の上昇、261銘柄の下落を記録し市場全体の動きは再び弱気に戻った。

主要30銘柄で構成されるVN30指数は+0.07%の1,299.06ポイントで、19銘柄が上昇、9銘柄が小幅安となった。

銀行セクターが投資家の資金を惹きつけ、ベトインバンク（CTG）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、ベトナム国際商業銀行（VIB）、TPバンク（TPB）、クオックザン銀行（NVB）、ベトコムバンク（VCB）、軍隊商業銀行（MBB）、BIDV（BID）、テコムバンク（TCB）、VPバンク（VPB）、サコムバンク（STB）が上昇した。

エネルギーセクターは動きが分かれた。ペトロリメックス（PLX）、ビンソン製油石化（BSR）、ペトロベトナムパワー（POW）が上昇した一方で、ペトロベトナム・テクニカル・サービス（PVS）、ペトロベトナム・ドリリング（PVD）、ペトロベトナム・ケミカル・サービス（PVC）は下落した。

ベトドラゴン証券は「上値抵抗線付近での圧力がある状況下では新たな資金の投入には注意が必要であり、マーケットは今後の取引の中で苦戦しながらも需給のバランスを見極めていくような動きが予想される。」と述べている。

「しかし、1,280～1,300ポイントの上値抵抗線よりも前に動きが弱まる可能性を考慮し、短期での取引は注意深く小幅の動きを捉えるようにすべきだ。その間、現在抵抗線付近での下値圧力がある中でリスク管理のためにポートフォリオを見直すことも考慮すべきである。

投資家は同抵抗圏に細心の注意を払い、リスクを減らすためのポートフォリオの再構築が優先事項だと思われる。」（同証券）

「海外投資家はホーチミン市場で売り越し、ハノイ市場で買い越している。もし今後数日の取引で大きな資金の流入がなかった場合、VN指数は1,270～1,280ポイント付近をさまようことになるだろう。」（BIDV証券）

ハノイ以上のHNX指数は+0.15%の293.27ポイントであり、1.3兆ドン相当の6,740万株が取引された。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。